

## 会 議 概 要

会議の名称	平成27年度第1回 伊予市健康づくり推進協議会
開催年月日	平成28年2月4日(木)
開始・終了時刻	午後1時30分から午後2時55分
開催場所	伊予市保健センター
会長氏名	稲田 貫
副会長氏名	佐々木 典彦
出席委員(者)氏名	岡田博助、宮本和彦、井ノ口美通、川口和男、荒木周一郎、稲田貫、佐々木典彦、高岡小夜子、西田孝博、海田秀司、鶴岡正直
欠席委員(者)氏名	欠席委員なし
傍聴者氏名	傍聴者なし
説明者の職氏名	室課長、篠原課長補佐、太森課長補佐、戸谷課長補佐、山内係長、谷本係長
事務局職員職氏名	室課長、金山課長補佐、篠原課長補佐、太森課長補佐、戸谷課長補佐、山内係長、谷本係長、松本主査
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 開会あいさつ</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 会長・副会長選任</li> <li>5 会長あいさつ</li> <li>6 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 健康づくり推進計画の推進状況について</li> <li>(2) データヘルス計画策定について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>7 閉会</li> </ol>
配布資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会次第</li> <li>○協議会設置要綱</li> <li>○委員名簿</li> <li>○資料 1-① 第2次伊予市健康づくり計画の年次計画</li> <li>○資料 1-② H27年度推進状況</li> <li>○資料 伊予市データヘルス計画の概要図</li> </ul>

## 会 議 録

発言者	会議の概要
事務局	<p>それでは、ただいまから平成 27 年度第 1 回伊予市健康づくり推進協議会を開催いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>開会に当たりまして、伊予市市民福祉部長海田秀司より御挨拶申し上げます。</p>
海田部長	<p>失礼します。市民福祉部長の海田でございます。</p> <p>本日は、第 1 回の伊予市健康づくり推進協議会を開催いたしましたところ、御多用のところ御出席賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>また、各委員の皆様におかれましては、市の福祉、健康増進、さまざまな事業につきまして日ごろから御理解、御協力を賜っておりますことにつきまして、この場をおかりして改めてお礼を申し上げます。</p> <p>さて、暦の上では立春ということで、先月からの大寒波ほどではありませんが、まだまだ寒い日が続いており、インフルエンザ等も流行の兆しも見えておりますので、各委員の皆様におかれましては御自愛を賜りたいと思います。</p> <p>本日の健康づくり推進協議会ですが、市民の健康づくりの総合的かつ効果的な推進を図るためということで設置をさせていただいております。伊予市も本年度で合併 10 周年を迎えたわけですけれども、第 2 次総合計画策定へ向けて、子育て推進とともに、生涯にわたる健康づくりを大きな課題として取り組みを進めておるところでございます。その中で、伊予市健康づくり計画をもとに、様々な健康増進事業を実施し、市民の健康保持や増進に努めてるところでございます。この健康づくり推進協議会のもとで平成 25 年に第 2 次伊予市健康づくり計画の策定をしております。平成 35 年度に向けての 10 年間の推進を図っております。平成 29 年には中間評価を行うこととしておりまして、それに向けての取り組みも今後期待されるところでございます。本日は、今年度、最初の協議会ということで、この後、会長、副会長の選任や、あと健康づくり推進計画の進捗状況、またデータヘルスの計画策定についての報告をさせていただくことになっておりますので、何とぞ各委員の皆様におかれましては忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。簡単ですが、開会の挨拶とかえさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>本協議会は、伊予市審議会等の委員の公募並びに会議及び会議録の公開に関する規則にのっとり、市政の公正の確保と透明性の向上のため原則公開とし、会議内容についても議事録作成のため録音させていただきますので、発言の際にはマイク使用で御発言をいただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、市のホームページに会議録を掲載させていただきますこと御了承願います。</p> <p>また、本日の配付資料の確認をお願いいたします。会次第、委員名簿、要綱、</p>

	<p>資料がA4のものが2枚、A3のものが1枚ありますが、皆様でございますでしょうか。</p> <p>それでは、自己紹介に移りたいと思います。</p> <p>今回、11名の委員さんに委嘱させていただきました。委員の任期は、平成27年7月1日より平成29年3月31日までとなっております。新任の方が4名、再任の方が7名となっております。今回は、住民代表の方はございません。平成27年3月に市民公募をいたし、1名の方の応募がございましたが、審査の結果、不採用となりましたこと御報告させていただきます。</p> <p>それでは、お一人ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>稲田先生よりよろしく願いいたします。</p> <p>○稲田 貫委員 伊予医師会の理事で稲田です。よろしくお願いいたします。</p> <p>○佐々木典彦委員 伊予歯科医師会の顧問をしております佐々木といいます。</p> <p>○岡田博助委員 伊予市議会民生文教委員会の委員長をしております岡田博助でございます。どうかよろしくお願いいたします。</p> <p>○宮本和彦委員 伊予市広報区長協議会の会長をしております宮本和彦といいます。よろしくお願いいたします。</p> <p>○井ノ口美通委員 中予地区食品衛生協会の井ノ口と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>○川口和男委員 伊予商工会議所の専務理事の川口と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>○西田孝博委員 いよし健康づくりの会の会長をしております西田です。よろしくお願いいたします。</p> <p>○高岡小夜子委員 伊予市食生活改善推進協議会の高岡です。よろしくお願いいたします。</p> <p>○海田秀司委員 改めまして、市民福祉部長の海田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○鶴岡正直委員 伊予市教育委員会事務局長の鶴岡と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>○荒木周一郎委員 中予保健所健康増進課の荒木でございます。伊予市を含む2市5町を所轄している保健所でございます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局について紹介いたします。</p> <p>事務局を担当しております健康増進課課長 室と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>課長補佐の篠原と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>課長補佐の金山と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>課長補佐の太森と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>課長補佐の戸谷と申します。よろしくお願いいたします。</p>

	<p>係長の谷本と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>係長の山内と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>保健師の松本と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移ります前に、本会の設置要綱第5条によりまして会長、副会長を1名ずつ選出させていただきたいと思いますが、選出についてはいかがいたしましょうか。</p> <p>意見がないようでしたら、事務局案を提案させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、会長に稲田委員さん、副会長に佐々木委員さんをお願いしたいと思います。承認いただける方は拍手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">〔賛成者拍手〕</p> <p>承認されましたので、これからの議事進行につきましては、要綱第6条の規定により会長が議長を務めることになっておりますので、稲田会長さんをお願いしたいと思います。</p>
稲田会長	<p>座って失礼いたします。</p> <p>伊予市の健康づくりについてですが、今、言われおります少子・高齢化ということで、診療していて常々思うのは、健診を受けられてない方が重症になって来られること。当然高齢の方に多いのですが、大抵救急車か何かで運び込まれる、2日続けてそういうことがあって、不幸にして亡くられる方が多い。お話を伺うと、僕は健康なんやけん、私は健康なんだからどこも行かんでいいと言われる。しかし、そのチェックがやっぱり大事で、必ず自分の患者さんでも健診を受けていますかと聞いて、そのデータを持ってきてもらって、データ見て、こうしましょう、ああしましょうと話しをします。健診されると健診結果から、要医療の場合は医療、食生活、いろんなことに気をつけながら、介護前の段階でも元気で健やかに終えるという、一病息災というか、そういうことが一番これから大事だと思います。介護予防という点からもそういうふうなことが大事だと思いますので、これからの健康づくり、これが一つの大きな僕は産業というふうにも考えてもいい。住民が、伊予市が発展していくためには、高齢化は避けられないし、少子化もこれ必然ですが、全体で元気で健康寿命を全うできれば、それが一番これからのいい姿じゃないかと思います。そういう意味での伊予市の健康づくりのこの会を大事にして、市民の皆さんにいろいろアピールをしていきたいと思っています。今回、会長を引き受けましたのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移りたいと思います。議題1の健康づくり推進計画の推進状況について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、計画の推進状況について御報告させていただきます。</p> <p>資料の1-①をご覧ください。これは、第2次伊予市健康づくり推進計画の年次計画表です。平成25年3月に策定いたしましたので、3年が過ぎようと</p>

<p>事務局</p>	<p>しております。この計画は、伊予市総合計画を上位計画とし、市民の健康づくり施策を推進する計画としております。また、伊予市食育推進1・4計画につきましても、本計画と整合性を図りながら推進しております。また、平成28年1月にデータヘルス計画を策定いたしました。こちらについては、後ほど説明させていただきたいと思っております。</p> <p>続きまして、2枚目の資料の1-②をご覧ください。計画の推進に向けて、目標に沿って事業に取り組んでまいりました。事業内容につきましては、表のとおりです。平成27年度の新しい取り組みとしましては、特定健診の受診率向上を図るため、国保保健指導事業を活用し、民間で実施している手法を取り入れ、健康教育や受診勧奨を実施しております。また、例年開催しておりましたいよし健康&amp;福祉まつりをいよし健康づくりセミナーに変更し、保険年金課と開催いたしました。今回は、タニタ食堂の管理栄養士をお迎えし、タニタ食堂に学ぶ家庭でできるヘルシーレシピのコツと題し、御講演をいただきました。また、同日に健康相談コーナーも設け、歯科相談、食生活相談、血圧測定などを実施いたしました。また、この後、妊婦一般健康診査結果の分析、歯科の取り組み、肝疾患対策について、それぞれ担当から説明させていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、失礼いたします。母子保健事業を担当しております太森といたします。</p> <p>妊婦一般健康診査の結果、平成26年度の診査の結果の御説明をしてまいります。</p> <p>昨年度、伊予市では妊娠届が267名出ているのですが、この方々が妊婦健診を受けた結果の一覧になります。所見のほうが必要治療と要精密検査になった実人数149名の分析をしたところ、表のような結果で、一番多い所見としては貧血、そして要精密検査で一番多い所見は、子宮頸がん検診後、子宮がん疑いというものが多く見られました。この結果の中で、貧血、それから高血圧、妊娠中毒症、糖尿病の疑いなどの生活習慣病に係る方の人数を実人数で調べますと123名ということで、8割ぐらいの方が生活習慣病に係る所見があるということがわかりました。</p> <p>次に、有所見児の母親が妊娠していたときの状況を調べたものになります。平成26年から27年度に出生した児のうち所見が見られた児が62名、その中で低出生体重児が29名、黄疸が見られた児が40名ということで、重複している児もいます。62名中、妊娠中の母親の所見が、貧血、高血圧、妊娠中毒症、糖尿病疑いなど生活習慣病に係る所見があった方が36名ということで、58%を占めておりました。このデータを分析したところ、生活習慣病に係る所見が見られる妊婦さんが多いということで、妊娠中から予防を目的に妊婦支援をすることが必要ではないかというふうに考えます。</p> <p>次に、最近、高齢妊婦が増えているのですが、過去5年間の妊婦さんの状況</p>
------------	---

を調べたものをグラフに表しました。5年間で人数のばらつきはありますが、やはり年々高齢妊婦が増えている状況です。青いグラフで表した人数が初妊婦さんの人数で、初めての妊娠で高齢出産という人が増えている傾向にあります。そして、高齢妊婦の年齢分布の変化をグラフで表したのですが、これで見ると、平成25年、青の実線であらわしたグラフと平成26年の赤の実線であらわしたグラフを重ねますと、高齢妊婦でも30代後半の妊婦さんの人数が増えているということで、妊娠中から高血圧の異常があったり、何かしら病気を抱えて妊娠するというふうな妊婦さんが増えている現状です。

そういったことを踏まえて、保健センターでは今年度から、妊娠期から支援をしていくというふうな取り組みをしております。妊娠届け出時の問診や保健指導を充実し、特定妊婦の抽出をして、特定妊婦を中心に訪問指導を現在行っております。現在40件ほど特定妊婦さんがいらっしゃって、半数以上訪問で指導を行っております。それから、マザー教室で食生活の指導をしたりということにも取り組んでいるのですが、仕事をしている妊婦さんが多いので、参加の状況は余り多い状況とは言えません。それから、経済的に苦しかったり、何かしら病気を抱えたり、子育てに問題があるのではないかというふうな妊婦さんに関しては、子育て支援課などの関係機関と連携しながら支援をしております。それから、少子化が問題になっていきますけれども、総合窓口のほうで婚姻届を出した方については妊娠や出産についての啓発のパンフレットを配布して、適正な時期に妊娠、出産をするよう啓発をしております。また、先日行われた成人式でも同じパンフレットを配布しまして啓発を行っております。

次に、幼児の歯科保健事業について御報告します。

幼児健診の1人平均のう歯数ですが、1歳6か月児健診時は虫歯がほとんどない状況なのですが、3歳児健診になりますとぐっと虫歯の本数が増えるということで、この棒グラフで見ると伊予市も愛媛県も同じような状況です。う歯の罹患歴についても同じような棒グラフになりまして、1歳6か月の健診が終了してから3歳児までに虫歯が増加しているので、この間、1歳半から3歳児の間で何か対策がとれないかなということで、今年度から2歳児を中心に虫歯予防教室を行っております。1歳6か月児健診でフォローになった対象児を中心に案内をして教室に案内をしているのですが、対象児に対して参加者が非常に少ない状況でして、それが今後の課題かなと思っております。今後は、この教室については、参加者が参加しやすい工夫を教室の中でしていきながら経過を見て、また虫歯予防に努めていきたいと考えております。教室の内容ですが、虫歯のRDテストを行ったり、おやつのととり方、歯磨きの指導、それからRDテストの結果を保護者に説明するというふうな形で実施をしております。

母子保健からは以上です。

それでは、今回、荒木課長さんの御配慮によりまして伊予市の肝疾患対策の経過をまとめる機会をいただきましたので、伊予市の歴史振り返りながら、地

域の健康課題として長年取り組んできました肝疾患対策について紹介させていただきます。

まず、データを紹介させていただきます。

伊予市の主要死因の統計ですけれども、全国統計と同様に悪性新生物、がんが死因のトップを占めております。

悪性新生物の人口 10 万対の推移を国や県と比較したものです。伊予市が上位で推移しております。

がんの部位別の死亡者の状況を県と比較したものです。左端が男性、その次が女性、その次が県の男女ということになっております。突出しておりますのが左から 3 番目の棒、肝がんが一番高くなっておりまして、100 を標準として見る統計ですが、県平均の 3 倍になっております。

これは、今のグラフを年次推移で男女別に見たものです。男性のほうが高率となっております。

こういった背景を捉えながら、伊予市では肝疾患対策を進めてきております。肝がんの死亡をできるだけ少なくしていくためにという取り組みの発端は、昭和 50 年ごろの松山近郊での B 型肝炎の流行があったようです。その取り組みを進めるなかで、単なる B 型肝炎だけではなく、その当時まだ C 型肝炎はわかっておりませんでしたので、非 A 非 B 型肝炎ということで、その対策に今後取り組む必要があるのではないかということで指摘を受けました。平成 4 年、全県下に先駆けまして C 型肝炎の抗体検査を住民健診で実施しました。その後、さらに力を入れまして、平成 9 年、国の地域保健推進特別事業の採択を受けまして、市内で 18 歳以上の方を対象に無料で C 型肝炎の検診をスタートさせております。それ以降は、老人保健法、健康増進法に基づく肝炎の検診ということで定着して、皆さんに受けていただいているかと思えます。

これが、今お話しした C 型肝炎取り組みの事業の経過になっております。皆さんにも御参加いただいたかと思えますけれども、肝疾患対策に全市的に取り組むために肝疾患対策協議会を立ち上げ、肝疾患を考えるシンポジウム、説明会等を開催し、いろいろな形で啓発活動をさせていただきました。全員の方に肝炎の検査を受けていただくことを目指してスタートした C 型肝炎検査の流れ図です。未受診の方が早く気づいて医療機関に結びつくようにという思いで、今も推進しております。

陽性の方には肝疾患手帳を配付して、皆さん継続した治療ができるように心がけていただいております。今は、健康増進法に基づく健康手帳に移行した形で活用を図っていただいております。

先ほども紹介させていただきましたが、伊予市ではこれらの取り組みを進める中、肝臓病については地域の健康課題として大きく取り上げ、みんなで守っていこうということで取り組んでいます。

検診の受診者の推移になります。合併前からスタートしておりました検診を

	<p>引き続き全市的に取り組むという合意のもとに推進しております。検診を申し込まれたときには必ずお声かけをさせていただいておりますので、またかと思われるかと思えますけれども、全員の方に受けていただきたいという思いで取り組ませていただいております。</p> <p>今までに受けていただいた受診者の方の総数になります。受診率は33.8%、B型肝炎の陽性率は0.9%、C型肝炎の陽性率は7%ということで、C型肝炎については全国に比べても非常に高い状況となっております。</p> <p>これは、グラフ化したものです。C型肝炎については、高齢になるほど陽性率が高くなっております。</p> <p>全国の陽性者数と比較したものです。先ほど申しましたように、全国、県と比較してC型肝炎については高率になっております。肝炎ウイルス検診の陽性者のフォローの状況ですけれども、陽性者の方が全て医療機関を受診している状況ではないことが伺えますので、これが100%になるように、せっかく受けた検診ですので、治療につなげていただけたらと思っております。</p> <p>肝臓病についてはどんどん治療が進化しておりますので、その治療の最新情報をお伝えするために肝臓病教室を開催し、それに合わせて医師の相談に応じていただいておりますので、それも引き続き開催していきますので、是非御参加いただきたいと思えます。</p> <p>今後の対策としましては、肝炎ウイルス検診の受診率の向上を図り、発見されたキャリアの方の精密検査の受診を勧めていきたいと思っております。今後も、正しい知識の普及啓発を図っていくとともに、職員のレベルアップを図りたいと思っております。</p> <p>肝炎の治療については、新薬が次々に発売されC型肝炎については治る時代が来たということで、情報発信に努めてまいりたいと思っております。</p> <p>以上です。</p> <p>以上、推進状況についての報告を終わりたいと思えます。</p> <p>ただいま報告いただいた推進状況についての御意見、市への要望とか、そのほかこういうところをもう一度聞きたい点等ありましたら、質問をお願いいたします。</p> <p>先ほどの報告の中で、妊婦さんの生活習慣病の率っていうのは80%、82%もあるということで、私ちょっと驚いたんですが、それっていうのは食事とかそういうもの関係もあるのではないかと思うんですけども、ふだんの生活の状況と食事の状況とかの関係とかというのは何か調査された経緯はありますでしょうか。</p> <p>調査まではできてなのですが、先ほどのデータは、妊婦健診の中で要指導、要精密検査レベルになっている妊婦さんの中で8割が生活習慣病の所見があるということで、食生活とかの乱れからそのような所見が出ているのではないかと思われるのですが、一人一人の状況をお調べしているわけではないので、</p>
稲田会長	
西田委員	
事務局	

	<p>そこまでの生活状況についてはまだ関連づけができてないので、妊婦さんの訪問などで生活の状況等を把握して、そこはまた関連づけができたらいいなというふうには考えております。御意見ありがとうございました。</p> <p>今のご質問に関連しまして、マザー教室で、こういった生活習慣病に着目し、妊婦さんの食生活を見直すために栄養士のほうがアンケート調査をしておりますので、マザー教室に参加した人だけのデータにはなりますが、紹介させていただきます。</p> <p>マザー教室の食事の講義のときに、1日に食べたものとの調査をしています。個人個人の食べたものを書いていただいて、栄養士のほうがコメントを書いて妊婦さんに返しているんですが、その中でかなり個人差がありまして、朝御飯、昼御飯、晩御飯と3食とも主食、主菜、副菜をそろえてバランスよく食べられている方もいらっしゃるんですが、片や朝御飯抜きとか、食べてもお菓子、菓子パンだけで、3食の中で主食と主菜と副菜をそろえて食べているのは晩御飯だけという方も少なくありません。マザー教室の中で、バランスのよい食事をとるために何をどれぐらい食べたらいいのかということと、3食ともきちんと食べるようにという指導はしていますが、今後もバランスよく食べて生活習慣病を予防するために教室で話していきたいと思っております。</p>
<p>西田委員 稲田会長 荒木委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにもございませんか。</p> <p>ちょっと私のほうから、先ほどの肝臓のことでまた補足と申しますか、私のほうからもお願いという形になりますが、C型肝炎の治療薬が御存じのとおりこの1年ぐらいで非常に進歩いたしまして、副作用もほとんどなくウイルスが体の中からいなくなると、そういうふうな治療でございまして、画期的というふうに私どものほうでも思っております。そういった医学の進歩を住民の方のために還元するという役割、これは地域で診療なさっておられます先生方が中心でございまして、私どもはそのまた別の側面からそういったサポートができればと思っておる次第です。</p>
<p>稲田会長 川口委員</p>	<p>愛媛県でも、やっぱり肝炎の治療をするには正確な診断が必要なので、ウイルス検査をまず受けていただいた後に、どの状態にあるのか精密検査をしていただきますので、費用もかかるということで、その費用助成のほうを県の方でもしております。そういったことを含めて、住民の方に知っていただければなというふうに思っておる次第です。本当に副作用少なくて、いつの間にか治っていたと、そして元気が出たというふうにおっしゃってるとのこと。愛媛大学の診療なさっている先生から聞いた話ですけれども、伊予市の人が皆元気になるのではないかとこのように思っております。よろしく申し上げます。</p> <p>ほかにもございませんか。</p> <p>すみません。肝疾患が伊予市で全国平均とか県平均より多いという理由を教えてください、何かわかれば。</p>

荒木委員

これはもう随分昔の話でございます。言ってしまうと、過去のことなので申し上げますけれども、予防接種とかの注射器を滅菌を十分せずを使用することが日本全国で行われておった時代が過去においてございます。そういった背景がございます。これは伊予市だけではございません。私ども統計を見てみますと、松山市、それから東予の西条、新居浜、今治、そういったところも率は高いです。伊予市は過去にこういった対策をとられてきたということがございましたもんですから、そこをまとめてみたらというふうに申し上げたんですね。それを皆全県下で参考にして啓発活動とかに役立てていただければという趣旨でもございます。ですから、一応過去のごことは過去のごこととして捉えていただきたいなと思っております。これから大事なことは、そういった肝炎に悩んできた人たち、方々に、こういう治療があるんだよということをご是非知ってもらいたいという、そういう気持ちから申し上げた次第でございますので、どうかよろしくお願いいたします。

稲田委員

僕も現場で治療していて、C型肝炎がものすごく多くて、肝硬変、肝がんというパターンが伊予市は本当多かったのですが、最近、ウイルスを直接やっつけるような治療ができて、それまではインターフェロンで副作用もあって結局治らなかったり、ウイルスが居残った人がかなりたくさんいたのですが、ほとんど全員が4週間内服して、合計12週服用するんですけど、それでほとんどウイルスがいなくなって、著明な効果がありますが、多分このデータは5年、10年後には伊予市は肝がん発症がどんと落ちる、そのためにはやっぱり早くウイルス見つけて早くいい治療をしないと、肝硬変も進んでくるとその薬も効きませんから、その手前でウイルスをやっつけてしまわないと肝硬変、肝がんという形になります。是非、行政やほかの医療機関もアピールしてそういうふうな治療を推進していきたいと思えます。

これも1錠が8万ちょっとする、めちゃくちゃ高い、全84日間投与しますから、その80倍というものすごい高額な医療になりますが、今、助成がありますから、それを利用してかなりの多くの方がよくなっております。また、このデータも毎年出ると思えますから市役所のほうでも把握してもらって、飛び抜けて高い医療費がかかりますから、人数的にどのぐらいの方が服用し、それがよくなっているか楽しみにしてみたいと思えます。そのためには早く見つけて、確実にほとんど副作用がなくてよくなる治療ができました。昔のC型肝炎は見つけてもなかなか治らない、治すためにインターフェロンするともものすごく副作用が強いので、皆さん嫌がって待っているというか、一生懸命頑張ってもウイルスがなくならないような状態があったのですが、今は本当うそみたいによくなります。昔の結核に対する抗結核薬ができたときのように、国民病がほとんど、今の若い先生は結核を実際に見たことないぐらいに減っています。C型肝炎についても、そのような状況に将来、5年、10年ぐらいでなるのではないかと思います。その基礎をつくるためには、是非、早期発見、早

<p>事務局</p>	<p>期診断での確な治療というのが大事だと思います。この点よろしくお願ひします。</p> <p>ほかに質問や発言はございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>ないようでしたら、次のデータヘルス計画策定について事務局からお願いいたします。</p> <p>失礼いたします。私のほうからは、伊予市国民健康保険事業実施計画、データヘルス計画について御報告をさせていただきます。</p> <p>まず、お手元の資料につきましては、この後また、概要図ということでA3の横広のカラーの資料があるかと思いますが、こちらは、具体的なデータヘルス計画の内容に関連することとしてまた後ほど担当のほうから説明しますけれども、こちらに関しまして、データヘルス計画の策定の背景と経緯等についてまず少し御説明させていただいたらと思います。</p> <p>平成20年度から始まりました特定健診、特定保健指導やレセプト等の電子化の進展により、市町村国保を初めとします保険者が健康や医療に関する情報を活用し、保険加入者の健康課題の分析や保健事業の強化等を行うための基盤整備のほうが進められてきました。こうした中、全ての健康保険組合に対してレセプト等のデータの分析と、分析に基づく加入者の方々の健康増進のための事業計画としてデータヘルス計画の策定、公表、事業実施、評価等の取り組みが求められるようになりました。</p> <p>厚生労働省におきましても、平成26年3月、国民健康保険法に基づく保健事業実施指針の一部を改正。保険者は、健康医療情報を活用し、目的達成のための計画を立て、実施し、評価を行い、改善していく、この一連の流れであるPDCAサイクルに沿った効果的で効率的な保健事業を行うための保健事業の実施計画、データヘルス計画を策定し、保健事業の実施と評価を行うこととなりました。</p> <p>伊予市におきましては、これらのことを踏まえ、このたび伊予市国民健康保険実施計画、データヘルス計画を策定し、各種のデータ分析の結果に基づき健康課題を明確にし、被保険者の特性に合わせた効率的、効果的な保健事業を行うことで、生活習慣病対策を初めとする国保加入者の方々の健康増進、糖尿病などの発症予防、重症化予防等の保健事業の実施と評価を行っていくことといたしました。データヘルス計画は、関係しますほかの計画と総合的に実施していく必要があることから、第2次伊予市健康づくり計画及び特定健診等実施計画との整合性を踏まえ、計画期間は平成29年度までとしております。計画の本編につきましては、今後、伊予市ホームページのほうに掲載をする予定です。</p> <p>そうしましたら、これから皆様のお手元の概要図につきまして、説明のほうを担当のほうがいたします。</p>
------------	--

失礼いたします。お手元にお配りしております伊予市データヘルス計画の概要図の資料の説明をいたします。

先ほどの戸谷の説明部分と重複するところもありますが、よろしく願いいたします。

まず、資料の左上です。社会保障制度改革推進法が平成 24 年 8 月 22 日に施行されました。これは、社会保障費の財源を消費税を上げて確保していきまますよということと、もう一つ、医療費と介護費の適正化を行っていきまますよというものです。医療制度改革関連法では、国は特に予防、健康管理を重視して、重要施策として位置づけております。厚生労働省は、この背景を受けまして、平成 26 年 3 月に保健事業の実施に関する指針を 10 年ぶりに改正しまして、国保を初めとする全ての医療保険者に、データヘルス計画を策定し、平成 29 年度までに実施するよう求めています。伊予市におきましては、健診データや医療レセプト、介護保険のデータを一貫して突合して見ることができる、K D B、国保データベースシステムを活用しまして伊予市データヘルス計画を策定しております。

データヘルス計画の基本的な考えは、資料の真ん中にある図によって国から示されております。真ん中の図をご覧ください。図のタイトルに、特定健診・特定保健指導と健康日本 21（第二次）とあります。データヘルス計画は、このタイトルにあるように、特定健康診査等実施計画第 2 期と第 2 次伊予市健康づくり計画と別々のものではなく、同じ方向を向いております。上から下に矢印が向かっていますが、メタボ健診と言われる特定健診、特定保健指導の実施率の向上を図りながらデータの分析を行って、生活習慣病の危険因子の中でも短期的に解決が図られるもの、また中・長期的に取り組むことによって減少の期待ができる虚血性心疾患、糖尿病性腎症による新規透析者、脳血管疾患にターゲットを絞って実施するという一方で、健康格差を縮めて、ひいては医療費や介護費の適正化につなげるというものになります。

サブタイトルにもありますように、国は、このデータヘルス計画の実施によって、特定健診、保健指導のメリットを生かして健康日本 21（第二次）を着実に推進していくと考えています。この国の考えに沿って、伊予市のデータを図の周りに置いています。1 番から見ていきますが、常に真ん中の図の中での位置を確認してもらいながらデータをご覧ください。1 番から見ていきますが、常に真ん中の図の中での位置を確認してもらいながらデータをご覧ください。

では、まず左側の 1 の表を見てください。伊予市の特定健診受診率は 24.1% で、県や全国と同規模市町に比べると非常に低いです。8 割近くの方が健診を受けていない状況になります。

2 の表で、②の表ですが、健診も医療も受けていない人は 1,875 人いました。また、健診を受けた方のうち、重症化している状態にもかかわらず治療をしていない方が 180 人もいましたので、未受診者の 1,875 人の方が自覚症状がないままに重症化しているかもしれない、この未受診者の方たちが本当に健康か

どうかという点について、今後ますます未受診者対策というのは伊予市にとって重要な課題と言えます。

3のメタボリックシンドロームのところでは、該当者、予備群を含めると、健診受診者の3人から4人に1人がメタボという状況でした。

④番の資料をご覧ください。ここでは伊予市の1人当たりの医療費を見ています。伊予市の1人当たりの医療費は2万6,724円で、国や同規模保険者、県と比べて高く、その下の外来と入院の件数と費用額の割合を見てみますと、入院は外来と比べて件数はすごく少ないですが、費用額は外来よりかかっていることがわかります。入院は1件の費用がとてかかります。重症化した結果を入院と捉えて、重症化予防を考えていきます。

6では、その重症化してしまった方の入院医療費を見ています。虚血性心疾患や脳血管疾患といった予防できる病気にたくさんのお金が使われていました。1件当たりの費用額も入れておりますが、1人予防しただけでもかなりの医療費が減らせることになります。

関連して、5では、6の入院で高額になった方が何の基礎疾患で治療をしていたかについて見ています。脂質異常症と高血圧の基礎疾患の重なりが多くありました。

7をご覧ください。真ん中の図でいうと、最終目標の健康格差のところです。ここでは指標として、医療の先にある介護について見てみました。伊予市は、1件当たりの給付費も、また介護認定ありの医療費も、国や県よりも高い状況でした。この給付費と医療費の高さは、それだけの介護サービスと医療のケアが必要ということになります。また、その介護の原因となった病気を見てみますと、脳卒中が多くて介護が必要な状態になっておりました。

以上のことから、市の課題としましては、健診受診率が低いこと、また特に脳血管疾患が高額な医療や介護の原因につながっているという実態が見えてきております。また、入院の高額医療になる病気の背景には脂質異常症と高血圧が多くかかわっておりました。それらの課題から、短期目標として重症化予防対象者、特に高血圧と脂質異常症の受診勧奨と保健指導、栄養指導を徹底し、また特に未治療者を優先に取り組みたいと思います。また、薬だけでは改善が難しいため、医療機関へ受診していても解決しないと言われているメタボの改善と発症予防にも取り組みます。中・長期的目標として、特に脳血管疾患の減少を目指し、また重症化して入院に至らないよう、入院医療費の伸びを抑えることを目指します。実施評価につきましては、KDBシステムなどのデータを活用しまして医療費の伸びなどを見ていきたいと思っております。

資料右上に保険者努力義務支援制度とありますが、これは国が、国保保険者にやる気を損なわないよう、ちゃんと予防や健康づくりで成果を出せばお金を手当てしていくよというものです。さらに、資料の右上にあります、日本健康会議を発足させまして、そこでは行政だけではなく民間組織と連携をして、

	<p>具体的な取り組みに向け、予防や健康づくりを促すきっかけづくりを国は本格的に進めております。</p> <p>先ほども申し上げましたが、国はデータヘルスを重要な施策として位置づけております。伊予市としましても、今後、データヘルス計画の実践に向け、効率的、効果的な保健指導の実施に努め、健康格差の縮小につなげていきたいと考えております。全国においては、国の動きを捉えてこういった取り組みを先駆けて実施している自治体があります。その自治体は、保健指導で医療費抑制に成果があったということ報告しておりますので、伊予市もそういった成功をしている自治体も参考にしながら、共通認識を持ってさらに推進を強化して取り組めたらと思っております。</p> <p>説明は以上です。</p>
稲田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今のデータヘルス計画について御質問、要望とかございましたら、お願いいたします。</p>
佐々木委員	<p>佐々木先生、何かございませんか。</p> <p>私は歯科でして、歯科のう蝕であるとか歯周病、これも生活習慣病なのです。う蝕のほうは、15年ぐらい前からフッ素洗口というのを幼稚園、小学校、中学校とやっております、その当時に比べれば10分の1になりました。それで喜んではいるんですけども、今度は歯周病ですね。いろんなデータはありますけども、成人男性のほぼ80%が歯周病になって、世界で最大の病気は歯周病ではないかということをおっしゃっております。これも生活習慣という漠然としたくりなのですが、だんだん最近わかってきたことが、そういう口の中の細菌が血管を通じて各器官に行けば、当然、糖尿病であるとか肝臓病であるとかリウマチであるとか、あらゆるところの病気の発症になるという、そういうデータがあります。</p> <p>これは、じゃ、どうやって予防していくのかっていうのは非常に難しいですけども、僕たちも、食生活も含めて相当思い切った意識改革が必要であるんじゃないかという、そういうところまでは来ているのです。例えば、今言われていることは、糖質制限をした食事が要るのではないかというふうなこととかですね。僕ら日本人ですから、ほとんどお米を食べています。これが分類的に言えば糖質なんです。お米からお酒をつくりますから、大体100グラムのお米で多分50%ぐらいはお砂糖なんじゃないでしょうか。よく角砂糖何個分というふうな例えを示して、こっだけお砂糖をとり過ぎているんですよということを僕たちは指導しますけども、御飯はその最たるものです。それが主食と称して、先ほどもありましたけども、副食、主食というふうなことで非常に大真面目でそれをとっているわけですね。さあ、それが果たしてどうなのかというのが、これはいろんな人がいろんなことを言っておりますから、論争の真っ最中だと思います。</p>

<p>稲田会長</p>	<p>そういうことも含めて、ちょっと話は飛びますけども、御飯を食べ出したというのは本当いいことなのですよ、僕たちにとっては。飢え死にしなくて済みますから。飢え死には最大の不愉快なことですよ。みんなカロリーをとって飢え死にしなくなったっていうことは非常にいいことなのですけども。で、死なないから長生きするわけです。長生きしたら、微細な生活習慣が今度病気となって出てきて、せっかく長生きしたけども健康寿命が短くなってということ。それが、とりあえず先進国になったわけですから、先進国の住民というか、国民にとってはそれを解決しないといかんわけですから。だから、後進国の飢え死にするような人たちに比べればはるかにいいのです。けども、先進国の次の一歩を行くときにちょっと足踏みをしているという状態じゃないかなと思っております。非常に難しい局面には来ているとは思いますが。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにございませんか。</p>
<p>川口委員</p>	<p>すみません、この図の説明はわかったのですが、要は医療費とか介護の費用が多いから、これを減すというのが目標なんですよ、恐らく、このデータヘルス計画。目標が何なのかよくわからなかったんです。</p> <p>もう一つは、要はこの入り口の受診率を上げていけばよくなると、負担が少なくなるということだと思っておりますが、具体的にどうして受診率を上げるか、どうしようとしているのか、そのあたりを計画するのがデータヘルスの計画だと思っておりますが、このあたりはどうなのでしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>御質問ありがとうございます。おっしゃっていただいたように、医療費、介護費等が今後また伸びていきますことが予測されることから、データに基づいて分析した内容等から出ます課題に基づいて伊予市の健康づくり、健康増進に役立てて、ひいては予防をすることで介護、医療費等の削減といった点が目的になるかと思っております。</p> <p>そして、受診率につきましても、特定健診が平成20年度から始まっていますが、当初からなかなか受診率が上がらないことで、いろいろな対策をとってまいりましたが、なかなか難しい状況にあります。これまでに実施してきたことも踏まえながら、住民の皆さんのお力もかりながら、今日健康づくりの会の会長さんもお越しいただいておりますので、地域の皆様方と協力して、声かけをすることによって健診を受けないといかんとか、みんなで受けようやとか、そういった身近なところで広がっていくような啓発とか、周知等を協力してやっていくといったことをやっていきたいと考えているところです。そしてまた、健診を受けていただく方が増えることで、市のほうで把握できるデータというのも増えますので、予防の活動等にも活かされるのではないかなというふうに思っております。</p>
<p>海田委員</p>	<p>失礼します。市の立場から先ほどの御質問にも少しお答えしたいと思っております。</p>

	<p>まだ市議会提出前の来年度の予算のことで恐縮なのですが、全国の自治体、国や県、市町村、また民間の団体が昨年度までに取り組んできた事業として健康ポイント制度、健康の取り組みを住民の皆さんが参加したことに対するポイントを付与してさまざまなサービスにかえていくという制度をモデル的に国が進めてやってきたのですけれど、伊予市としても来年度独自に今この健康ポイント制度というのを一部の企業、組織と一緒に、モデル的にやろうと考えておりました、特定健診を受診していただいた方にもそのポイントを付与しよう、また健康づくりでウォーキングとかを、健康づくりの取り組みをしていただいた方にもそういうポイントを付与して施設のサービス料金あたりにかえようという新たな取り組みを来年度の予算で計上しようとしておりますので、それも一つの特定健診の受診率の向上に多少なりとも寄与するのかなと考えております。そのモデル事業が成功しましたら、大きくまた広げていこうとは考えております。</p> <p>また、先ほど出ました今年度秋に承認されたC型肝炎の治療薬の件でございますけれども、ちょっと余談でございますけれども、この治療を実施していただいた方は伊予市のほうでもかなりおりました、先ほどあがっておりましたように1回の薬剤が8万円程度かかるということで、この治療におきまして今年度の国保の医療費がかなり高騰しております。でも、これは次の課題として、その治療をしていただいたおかげで重症化しないということで、次の医療費抑制につながると考えてもおりますけれども、今年度その治療のためではと考えているわけですが、医療費がかかっているということで、国保財政が一定圧迫をされておるという状況が今見えられるところでございます。</p>
稲田会長	<p>ありがとうございました。</p>
岡田委員	<p>ほかに御発言、市議会の岡田様、どうですか。</p> <p>この取り組みですけど、一人でも多くの方がこういうふうなことを理解していただいて、積極的に、自分の健康ですから、関心を持って参加していただくということが一番大事だと思いますので、いろんな機会を捉えて積極的にPRをしていただきたいと思いますということをお願いしたいと思います。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p style="text-align: center;">〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
稲田会長	<p>ないようでしたら、次のそのほかの議題、議題というか、そのほかについて、健康づくりについてのいろんなほかの観点から御発言ございましたら、お願いいたします。</p>
西田委員	<p>西田さん、どうですか。何か御意見。</p> <p>意見というわけではないのですが、私は健康づくりの会、伊予市のをやっております。中山、双海もあわせて、伊予市全体でいろんなことをやっております。ウォーキングをやったり、先ほども言われました健診の勧奨とか、そういうこともやっております。ということで、今は会員の人を中心にやっておりま</p>

<p>稲田会長</p>	<p>すけど、今年度また事業計画、活動計画なんかも見直す中で、会員以外の方も一緒に参加できるものは参加していただくように、ちょっと幅広い立場から賛同される方と一緒に健康づくりをやっていこうということで、ウォーキングとか体操とか、お料理教室なんかもやっとなんですが、そういうのにも皆さん仲間を増やして行って、健康寿命につなげていけるような手助けを健康づくりの会もやっていこうかなということで、皆さんまたお願いして今後も続けていきたいなど。今ちょうど8年目ぐらいなのですが、今年9年ぐらいになっておりますが、そういうことで、皆さん結構熱心な方もいらっしゃるんで、そういう方と一緒に地域住民の方を巻き込んだ健康づくりを進めたいなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p style="text-align: center;">〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>ないようでしたら、これで議事を終わらせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>稲田先生、どうもありがとうございました。</p> <p>議長さんのスムーズな進行により、滞りなく議事を終了することができました。ありがとうございました。</p> <p>今回の協議会でいただいた御意見を参考にしながら、各分野と連携を持ち、健康づくり計画を推進してまいりたいと思います。今後も、市政全般はもちろんのこと、健康づくり関係におきましても御助言、御指導いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして平成27年度第1回伊予市健康づくり推進協議会を終了いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>長時間にわたりましての御審議ありがとうございました。</p> <p>すみません。第14回地域の人々と共に学ぶ救急医療シンポジウムのチラシを入れさせていただいております。医師会の主催で2月19日、夜7時から9時までウェルピア伊予で救急医療についての講演会を開催していただきますので、是非御参加いただきまして参考にさせていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">午後2時55分 閉会</p>